

子宮頸癌ワクチン（HPVワクチン）の積極的接種勧奨が再開されました。

当院では以下のワクチンを接種することができます。

2 価ワクチン 商品名サーバリックス HPV16/18 に対応

4 価ワクチン 商品名ガーダシル HPV6/11/16/18 に対応

HPV6/11 は尖圭コンジローマ（性行為感染症）の原因

HPV16/18 は子宮頸癌の原因

この種類のワクチンは公費補助があります。この補助の対象は 12 歳～16 歳です。

平成 9～17 年生まれの方は 3 年間キャッチアップ制度で補助が受けられます。

9 価ワクチン 商品名シルガード 9 HPV6/11/16/18/31/33/45/52/58 に対応

このワクチンは 16/18 に加えてその他の原因とされるタイプにも対応しています。

子宮頸癌の原因となる HPV タイプの 88.2% をカバーします。

世界標準のワクチンですが現在、公費補助は無く 1 回あたり 3 万円弱かかります。

どのワクチンも 3 回接種する必要があります。

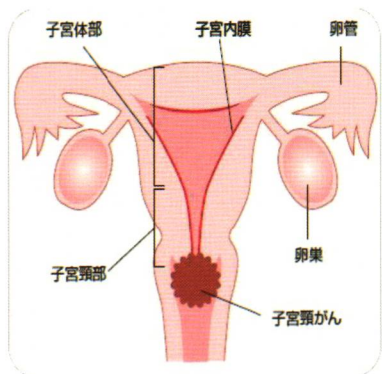
予約が必要なのでお問い合わせください。

すべての女性のみなさんへ～たいせつな自分へのプレゼント～

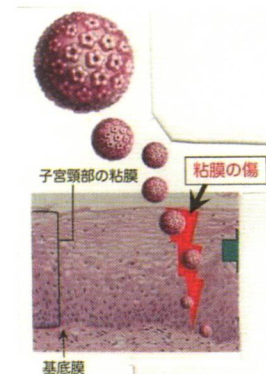
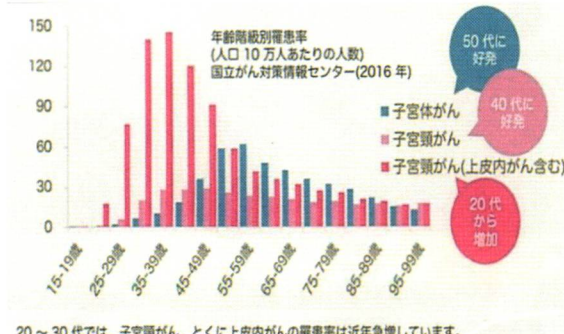
子宮頸がんって？

25～44 歳で急増
年約 1 万人が罹患し約 3 千人が死亡

HPV (ヒトパピローウイルス)



子宮の出口にできる‘がん’



子宮頸がんの原因ウイルス

HPV ワクチンって？

🌸 メリット ✖ デメリット

ワクチン接種で予防ができる

- 🌸 子宮頸がんの原因になるハイリスク HPV の感染を予防するワクチン (約 70%)
- 🌸 いっしょに尖圭コンジローマの感染の予防もできます。(4 価ワクチン) (約 90%)
- 🌸 HPV は皮膚や粘膜に誰でも持っている弱いウイルスですが、

ハイリスク HPV が子宮の出口に感染すると一部に異常が起き、さらにその一部が子宮頸がんになります

↓
性交渉で感染リスク上昇・・・> **その前にワクチンを打とう！**

- 🌸 対象年齢は **12～16 歳** (定期予防接種として無料で接種可能)
ただし平成 9～17 年度生まれの人たちにもキャッチアップ接種の機会があります。(3 年間—R4.4～R7.3)
- ✖ **ワクチン接種後の副反応が出た場合には専門の医療体制があります。** まずは接種した主治医にご相談下さい。
(山梨県内専門医療機関：山梨大学医学部附属病院産婦人科)

主な副反応

- 接種直後のふらつき、注射部位の痛み、腫れ、発熱
- 機能的な身体症状 (広範な痛みや様々な身体症状)

↓
ただし、これらの症状はワクチン接種をしなくても同様の症状を訴える人が同程度存在することからワクチンとの因果関係は不明です。

子宮がん検診って？

- 子宮頸がんの早期発見のために行われる検査—子宮の出口の細胞を採取
- **20 歳以降、2 年に 1 回、指定の産婦人科医療機関で受けられます。**
(住民登録されている市町村から受診券が送られます)

- HPV ワクチン接種と子宮がん検診とで子宮頸がんの 90% 以上の予防が可能です。
- さらに子宮頸がんと診断された方の治療が適切になされると、2070 年には子宮頸がんは排除基準に達します。
⇒ **子宮頸がんは根絶可能ながん**なのです。
- HPV ワクチンに関する情報は右側の QR コードでもご覧いただけます。



厚生労働省HP 日本産科婦人科学会HP

ご質問、ご心配なことがありましたら接種医、産婦人科医にお気軽にご相談ください

山梨県産婦人科医会